

新規事業箇所調書

				調書作成年月日	平成20年 2月12日																			
				事業担当課	道路課																			
事業名	交通安全施設等整備事業 主要地方道 古川佐沼線		補助・単独の別	補助	事業主体	宮城県																		
施行地名	登米市 ^{みなみかたまちいたくら} 南方町板倉				管理主体	宮城県																		
根拠法令	道路法																							
事業の概要	事業目的	<p>(主)古川佐沼線は、大崎市古川を起点とし登米市迫町に至る延長40.2kmの主要幹線道路であり、近年、大型ショッピングセンターの進出や「道の駅」のオープンにより交通量が増加している路線である。</p> <p>当工区は、南方小・中学校の通学路に指定されているが、歩道が未設置であることから、安全で円滑な歩行空間の確保を図る。</p>																						
	事業内容	<p>歩道整備 延長2,050m,歩道幅員2.5m</p>																						
	事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 ()</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>[55 %]</td> <td>[45 %]</td> <td>[%]</td> <td>[%]</td> </tr> <tr> <td>6.5 億円</td> <td>1.8億円</td> <td>3.6 億円</td> <td>2.9 億円</td> <td>億円 億円</td> </tr> </tbody> </table>					全体事業費	費用負担内訳				国	県	市町村	その他 ()		[55 %]	[45 %]	[%]	[%]	6.5 億円	1.8億円	3.6 億円	2.9 億円
全体事業費	費用負担内訳																							
	国	県	市町村	その他 ()																				
	[55 %]	[45 %]	[%]	[%]																				
6.5 億円	1.8億円	3.6 億円	2.9 億円	億円 億円																				
概要	事業期間	<table border="1"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成20年度～平成28年度(9年間)</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成21年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成22年度</td> </tr> </table>					事業期間	平成20年度～平成28年度(9年間)			用地買収着手予定年度	平成21年度	工事着手予定年度	平成22年度										
	事業期間	平成20年度～平成28年度(9年間)																						
	用地買収着手予定年度	平成21年度	工事着手予定年度	平成22年度																				
施設管理の予定	<p>道路管理者である宮城県が維持管理を行う。</p>																							

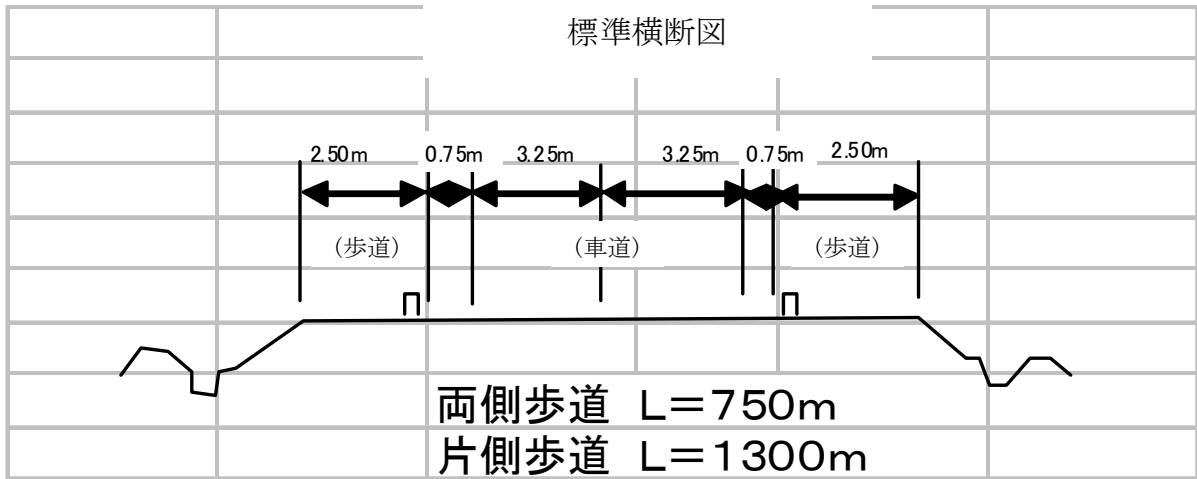
事業の必要性	上位計画等	土木行政推進計画（宮城県土木部）
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>社会経済情勢 主要地方道古川佐沼線は、現況交通量7,726台/12hの登米・栗原・大崎圏域の連携や交流促進に重要な路線であり、また登米市南方地区には、近年大型ショッピングセンターや道の駅の開業により交通量が増加しており、さらに16件/H13～H17の交通事故が発生するなど児童・生徒の安全な通学路の確保が強く望まれている。</p> <p>地元情勢、地元の意見 登米市・大崎市・栗原市・涌谷町の3市1町からなる、登米圏域・古川間連絡幹線道路整備促進期成同盟会から、整備促進に対する強い要望がある。</p>
事業の有効性	事業効果	<p>想定される事業効果</p> <p>南方小学校（児童数251人）・南方中学校（生徒数368人）、板倉区公民館など公共施設への安全な歩行空間が確保される。</p>
事業の効率性	関連事業の概要・進捗状況等	特になし
	代替案との比較検討	自動車交通量，自転車・歩行者交通量から歩道幅員は2.5mとして計画を行う。道路沿線の土地利用状況，歩道の連続性から，起点側の750m区間は両側歩道とし，終点側の1,300m区間については片側歩道として計画を行う。
	コスト縮減計画	盛土材料については，他工区からの流用土の活用を検討し，コスト縮減を図る。路盤。舗装材料については，リサイクル材料を使用しコスト縮減を図る。
	費用対効果	事業効果を数値化することが困難であり，費用対効果は算出していない。

環境への影響と対策	地域指定状況等								
		特になし							
環境への影響と対策	影響と対策								
		自然環境，景観に配慮し，地形改変を極力抑えた設計を行う。							
総合評価	事業箇所評価結果								
		<table border="1"> <tr> <td>評点による順位</td> <td>予算化された箇所数</td> <td rowspan="3">評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">交通安全施設事業(新規事業箇所)</td> </tr> <tr> <td>3位 / 4</td> <td>4箇所</td> </tr> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	交通安全施設事業(新規事業箇所)		3位 / 4	4箇所
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)						
	交通安全施設事業(新規事業箇所)								
	3位 / 4	4箇所							
総合評価	対応方針								
		事業実施							

位置図



標準横断図



現況写真

